



市埋蔵文化財センター

☎ 23-8020

⑦

ドキドキ
たいむとらべらー

サイコロの雑学

なぜ、サイコロの1の目が赤なのか、ご存知ですか？

1の目だけが赤いサイコロは、日本特有のものです。

1926年和歌山県のサイコロ製造業者が他社のサイコロと区別するために1の目を赤く塗ったという話があります。それまでは、数字は全部黒い色で塗られていました。

サイコロの起源は思いのほか古く、その原型は紀元前のエジプト古王朝などで確認されているようですが、現在と同じように1の裏が6であり、反対面をたすと

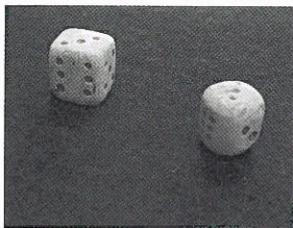
7になるサイコロは、紀元前8世紀頃のアッシリア（現在のイラク）の遺跡で発見されています。

では、日本にサイコロが伝わったのはいつでしょう？

それは奈良時代ごろ、中国から伝わってきました。当時は貴族の遊びに使われていましたが、平安時代になり庶民の間にも普及したようで、中世の遺跡からはしばしばサイコロが出土することがあります。

二戸市でも、金田一城（四戸城）跡の発掘調査で竪穴遺構の床面から2個一対の鹿角製のサイコロが出土しています。このサイコロ、実はくせ者！1個は普通のサイコロですが、もう1個はちよつと小ぶりで特定の目しか出ないようにつくられています。「イカサマサイ」ですね。

さてさて、当時金田一城で仕事をしていた人たち、何を賭けてこのサイコロを振っていたのでしょうか。お昼ごはん、それともきれいなお女中とのデート？



以外に古いサイコロの歴史

こみゆにTeaたいむ

16 節目

大崩崖は海だった？

8月29日午前11時ごろ大崩崖が崩落しました。崩落した土量は800m³と推定されます。

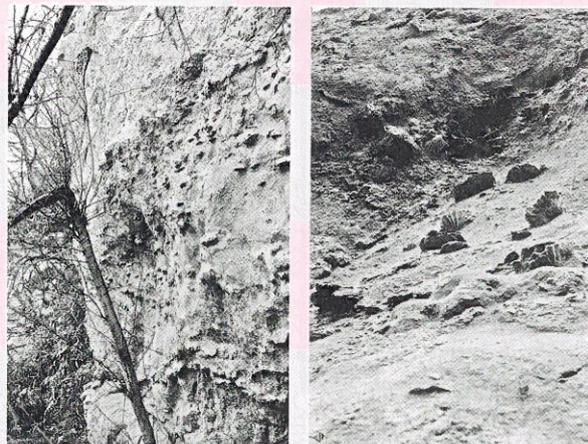
大崩崖は、ほぼ水平な地層が見られ、河岸には化石が多く見られます。下部は、門ノ沢層の砂岩・凝灰岩、上部は末ノ松山層で安山岩質の角礫岩となっています。大崩崖の崖下では、多くの化石が見つっています。主に貝の化石で、ホタテ類、タカノハ類、ナミガイ類、ウニ類、キリガイダマシなど良質の化石が見つっています。

このことから、大崩崖付近は1,500～1,600万年前には海であったと推定されています。二戸市で見つかった化石は、シビックセンター、歴史民俗資料館で一部を展示しています。

大崩崖はその名のとおり、地震や大雨などにより崩壊が繰り返されてきた歴史があり、今回の崩落も地震や大雨が関係していると思われる。

大崩崖の一部は崩落しましたが、その雄大な景観は今後も二戸市の代表的な自然・地質を見ることが出来る場所であり、今後も市の宝として見守っていきましょう。

大崩崖は、東京方面から二戸に入ると右側に見える最初の岩で、新緑の5月初旬、紅葉の10月下旬の眺望は特にすばらしいものとなっています。頂上には、九戸の戦いに初陣しながら、病気で亡くなった上方軍の蒲生氏綱（氏郷の甥）の墓があると伝えられています。



大崩崖で見られる化石（崩落前）

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線654）まで